

# 三年目を迎える東京くつちゃん会

東京くつちゃん会会長 成瀬勝也

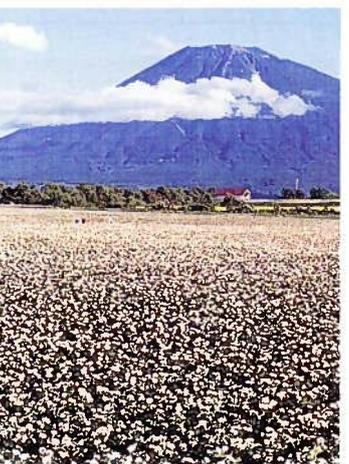


「東京くつちゃん会」は2011年11月に発足し、1000名近くの「くつちゃん」を想う人々が集まりました。この年は東日本大震災の年でもあり、「ふるさと」の絆の大切さをあらためて感じた次第です。

立ち上げてすぐ「ふるさと会連合会」の第100番目の会員になり、昨年の「北海道フェアin代々木」の観光PRコーナーでは倶知安町のパンフレットを沢山のみなさんに配ることができました。北海道各地の先輩ふるさと会の方たちと交流を深めることができましたこと

「ふるさと会連合会」のおかげと感謝しております。倶知安町は北海道新幹線の延伸計画をきっかけに、駅前を中心としたまちづくりプランに、町民の声を集めアイデアを練っていく「新幹線まちづくりワークショップ」がすでに数回開催されています。「東京くつちゃん会」も直接的に間接的になにか参加できる事があるのではないかと、これから考えていきたいところです。

この夏には「東京くつちゃん会」初めての行事として幹事他有志がふるさとを訪問し、町のみなさんとの交流会を行いました。次回(11月)の総会には会員の皆さんにふるさとの最新情報を伝えて楽しんでもらいたいと思っています。



羊蹄山と馬鈴薯の花

## ふるさと訪問

東京ニセコ会副会長 内藤則子



6月10日、我々東京ニセコ会の有志7名はニセコ町を訪問しました。7名とも町から観光大使の役目を仰せつかっています。

この訪問には二つの目的がありました。一つは、ニセコ町はマスコミにも度々取り上げられていて、世界的な知名度を持っていますが、観光大使としての使命を果たすために現在の町の様子を実際に見聞して学ぶこと。もう一つは、今秋10月に代々木公園で開催される北海道産直フェアに出店するため、お世話になる関係者の方々と交流を深めようということでした。

そこで町役場の方に案内していただいて、町の中心街、道の駅(ニセコビュープラザ)、ダチヨウ牧場、ミルク工房、チーズ工房、ソーセージ工房、農家さんなどを訪問しました。

町の中心部は綺羅街道というおしゃれな名前がついていて、電柱や電線が見えないように地下に埋められてすっきりしています。ところどころに椅子とテーブルが置かれて休憩ができるようになっていて、その脇には花がたくさん植えられています。我々が住んでいた数十年前からは想像がつかないくらいの変貌ぶりでした。

ニセコビュープラザの中は細かくブースに区切られていて、生産者の方の顔写真と名前入りの看板が掲げられていて、新鮮な農作物、山菜、手作りの品が盛りだくさんでした。

思わず他の方を待たせて、宅配の手配をさせてもらいました。土曜日や日曜日は広い駐車場から車があふれるほどの賑わいだそうです。

## 「東京十勝池田会」の活動報告

会長 清水洋二



一、「東京十勝池田会」(以下池田会)は、首都圏に居住している十勝池田町の出身者と池田町に縁のある人達によって組織されているふるさと会で、現在の会員は約160名位です。「池田会」は創立されてから今年で満43年を迎えますが、ここ数年は、会員の死亡・病气等による人員の減少に頭を痛めております。

たのを契機に、会員の親睦とふるさと池田町への支援という、「池田会」活動の原点に立ち返って、新しい行事のいくつか(十勝連合会主催のパークゴルフ大会への参加、池田町物産品の会員への提供、原発被災地福島県への支援旅行実施等)もささやかながら実行しつつあるところです。

二、「池田会」は、長い間定期行事として、年一回の総会・懇親会と「会報」の発行を行ってきましたが、3年前に役員体制が一刷新しました。ミルク工房は飲むヨーグルト、ソフトクリーム、パウムクーヘンの工房、そしてレストランも併設されていて、昼食はこちらでいただきましたが、お野菜たっぷりでも美味しく、お値段もリーズナブルでした。

三、池田町が誇る「十勝ワイン」の生誕50年という記念すべき年にあたります。ふるさと池田町では、去る6月に公式行事の記念式典が盛大に行われ、7月にも町主催の感謝パーティーと「十勝ワイン」の全国応援団の交流会が行われました。「池田会」でも、式典には会長の私のみ参加でしたが、感謝パーティーには、東京からツアーを組んで14名で参加してきました。「池田会」では、今後も原点に立った活動を行うつもりです。

